

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立平林小	学校	児童数	19
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.60	20.10	27.10	39.90	53.60	9.70	140.00	21.20	50.00
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.67	19.78	34.78	34.22	41.89	9.89	135.89	18.22	53.67
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- ①体力合計点は、男女ともに全国平均を下回る結果となった。しかし、種目別でみると、ソフトボール投げ・20mシャトルラン・上体起こしは、男女ともに全国平均を上回っている。
- ②質問紙の結果から、「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答において、男女ともに肯定的な回答が85%を占めており、最も肯定的な「好き」の回答が、男女ともに大阪市平均ならびに全国平均を上回っている。「あなたにとって運動（体を動かす遊びを心くむ）やスポーツは大切なものですか」の回答でも、同じく、男女ともに最も肯定的な「大切なものである」の回答が、大阪市平均ならびに全国平均を上回っており、普段から進んで体を動かそうと意識して取り組んでいることがわかる。
- ③「1週間の総運動時間」に関して、授業の時間を除く、運動時間は、個々での差が激しく、体を動かすことの大切さを意識してはいるものの、学校の授業以外では、なかなか体を動かす時間が取れていないことがわかる

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ①種目別でみると、立ち幅跳び・50m走・反復横跳び・長座体前屈が下回っていることから、体育の授業の中で、体つくり運動を取り入れることで改善を図る必要がある。ソフトボール投げや20mシャトルランの結果が良かったのは、普段の体育の授業以外に、学級でのみんな遊びで、「ドッジボール」や「おにごっこ」に頻繁に取り組んでいることが影響していると考えられるため、引き続き継続していく。
- ②運動やスポーツに対する興味、関心が高い児童が多く、苦手な種目や競技があっても、向上心を持って取り組んでいることがわかる。授業の中で、個々の段階に応じたコースを作り、成功体験を積めるような工夫を意識的に取り入れることで、児童が達成感のある、楽しい授業を目指す。
- ③各学級で全員遊びを設定し、休み時間にも外で体を動かす機会を作る。校内だけでなく、生活だより、保健だより等を活用し、家庭にも呼び掛けていく。